



③トイレ(仮設)
 トイレは山側に設置する
 水道管理のしやすい場所に移設する
 トイレに手洗い場を設ける
 水洗トイレを設置する

⑤駐車場(暫定)
 誰でも分かる駐車場の整備をする
 駐車場を整備して、トイレも駐車場内に設置する
 駐車場を舗装する

④周辺道路
 ⑧立て看板(車両進入禁止)
 車やバスで大川小学校に来た人が、安全に県道を渡れるようにする
 水たまりにならないように整備する

⑧立て看板(注意喚起)
 ⑥バリアケード
 学校敷地内に管理棟を設置する
 防災教育のため、管理展示棟を設置する
 全てを知ることができる総合施設(情報資料館)を設置する
 事実を伝える展示パネルを設置する
 震災前後の写真などを掲示して、語り部がいなくてもわかるようにする

⑦立て看板(立入禁止)
 敷地内禁煙
 避難経路、避難場所
 進入禁止エリア
 立ち入り禁止・危険個所のバリアケードをつくる

⑧立て看板(車両進入禁止)

⑧立て看板(注意喚起)
 ①慰霊碑
 ②モニュメント
 ⑥バリアケード

⑥バリアケード
 慰霊碑の位置づけや設置場所を決める
 静かに供養をしたい人のために、いつでも静かに子どもたちに語りかけられる場所に移転する
 バスが慰霊碑の所に入らないように整備をする
 慰霊碑上でのガイドを禁止する
 慰霊碑を安全な高い場所に移転する
 本道から慰霊碑まで来る幹線には作業関係者以外の乗り入れを禁止する
 慰霊碑前で大声での笑談を禁止する立て看板を立てる
 慰霊碑を別の場所に移動して伝承施設とは別にする
 慰霊碑の設置場所は検討会議以外で決める
 モニュメントを作る

整備する運営体制	常駐者の配備	ガイドをできる管理常駐者の配備	維持管理	掃除	発信方法	建物の安全性を確保する
管理常駐者を配備し、常駐者は遺族にする	管理常駐者を配備し、常駐者は遺族にする	ガイドも兼ねた管理常駐者を配備する	今後数十年間を見据えた遺構の維持管理計画を立てる	遺族による清掃、ボランティアによる草取り、ゴミ拾いは今後も続けていく	他県の高中生や大学生を、清掃ボランティアとして受け入れる	市外の訪問者のために、石巻市以外の他被災地の施設や各場所の役割を明確にし、「大川小」「門脇小」「復興祈念公園」など、それぞれの場所について発信する
送られてきた物	防犯対策	建物内部の公開	慰霊と伝承の分離	誰でも分かる駐車場の整備をする	駐車場を整備して、トイレも駐車場内に設置する	駐車場を舗装する
慰霊のために送られてきたものが校舎内で雨ざらしにならないように、風雨の対策をする	不審者の侵入を考慮した対策をする	「小さな命の意味を考える会」の視察案内時のように、学びの効果を大きくするために、校舎の2階まで視察者が立ち入れるようにする	立ち入り禁止にする場合は、どういふ場合には入れるのかを決める	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する	慰霊碑等の祈りを捧げる場と校舎の防災伝承の場を分ける

整備をする際に考慮すべきこと	遺族に配慮した場所にする	地域に配慮した場所にする
防災教育の場というのと、慰霊・鎮魂の場というのを一緒に議論してよいのか、なぜあそこに遺族の方がいかないのか、根本から考え、配慮をする	遺族会での慰霊は毎年行う	外から来る人も大切かもしれないが、中で辛い思いをしている人もいることを忘れずに配慮する
亡くなった人に失礼であるため、観光資源とは呼ばない	慰霊碑の位置付けは遺族の皆様で決める	慰霊碑は遺族会が決める
他の人が来ているときに、この場所に行ける遺族は少ない、心理的に行けなくなっている人がいることを配慮する	遺族会としてここを使いたいですが、という時に使えるようにする	遺族追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方について、地域住民と協議を続ける
遺族会での慰霊は毎年行う	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
外から来る人も大切かもしれないが、中で辛い思いをしている人もいることを忘れずに配慮する	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
慰霊碑の位置付けは遺族の皆様で決める	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
慰霊碑は遺族会が決める	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
遺族会としてここを使いたいですが、という時に使えるようにする	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
遺族追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方について、地域住民と協議を続ける	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
地域の中の大川小と考える	現状のまま残す	広島みたいに訪れた方が理解できるように物を残す
校舎に手を加えず事故防止のための安全対策を行う		

伝承・教育の方法	伝承教育の内容	何の為に残すのか・何を伝えるか
学校の周辺に集落があった事を知ってもらおう	子どもたちが待機した場所や、逃げた山について展示する	命を守る防災教育の場にする
当事者ではなくても、伝承活動ができるようにする	宮城県内の被災地の学校、被災を受けていない学校も実際に被災地へ行き、学校教育による伝承をする	被災校舎で防災を学ぶ
学校関係の語り部と、地元語り部の話す内容を統一する	映像などでは大川小ばかり映るのが、海沿いの長面地区のことも考慮する	同じ悲劇を繰り返さない
伝承として、バトンを渡す子どもたちの声を聴く	学校だけではなく、地域として子ども達をどう守るのか考える	防災教育における「地域」の大切さを伝える
地域で将来的にどういった伝承活動をしていくのかを検討する今後、あの校舎をどのように残していくのか、どのような伝承をしていくのかというの、若い子たちの意見も聞き、一緒に活動していく	何のために残すのか認識を共通にして、災害があったことを残す	学校で二度と子供が亡くなる様なことをこの国からなくす
	防災・減災に繋げることでできる(防災教育の場)として保存する	教育者、企業経営者(管理者)の教育を行う
	多くの人が犠牲となった場所での伝承の主体が遺族や地域の方である以上、津波や自然、学校、教育委員会、行政、などへの「恨み節」と共に語られる面があることは致し方ないと感じる。当初は行政側としては受け入れにくい「語り」があるかもしれないが、刻と共に洗練されてゆくとと思われるため、本検討会議が終了した後も、遺構として残すべき目的・手段等について、行政と担い手の間で対話が保たれるような仕組みにしてゆく	東日本大震災の教訓を後世に引き継ぎ、防災・減災に繋げる事が出来る教育の場、多くの犠牲者を悼む慰霊と鎮魂の場にする
		命を守る防災教育の場にする
		被災校舎で防災を学ぶ
		同じ悲劇を繰り返さない
		防災教育における「地域」の大切さを伝える
		学校で二度と子供が亡くなる様なことをこの国からなくす
		教育者、企業経営者(管理者)の教育を行う
		今後同じような悲しみ苦しみを発生させないように、後世に、全国に、全世界へ発信し伝える

整備する運営体制	常駐者の配備	ガイドをできる管理常駐者の配備	維持管理	掃除	発信方法	建物の安全性を確保する
管理常駐者を配備し、常駐者は遺族にする	管理常駐者を配備し、常駐者は遺族にする	ガイドも兼ねた管理常駐者を配備する	今後数十年間を見据えた遺構の維持管理計画を立てる	遺族による清掃、ボランティアによる草取り、ゴミ拾いは今後も続けていく	他県の高中生や大学生を、清掃ボランティアとして受け入れる	市外の訪問者のために、石巻市以外の他被災地の施設や各場所の役割を明確にし、「大川小」「門脇小」「復興祈念公園」など、それぞれの場所について発信する
送られてきた物	防犯対策	建物内部の公開	慰霊と伝承の分離	誰でも分かる駐車場の整備をする	駐車場を整備して、トイレも駐車場内に設置する	駐車場を舗装する
慰霊のために送られてきたものが校舎内で雨ざらしにならないように、風雨の対策をする	不審者の侵入を考慮した対策をする	「小さな命の意味を考える会」の視察案内時のように、学びの効果を大きくするために、校舎の2階まで視察者が立ち入れるようにする	立ち入り禁止にする場合は、どういふ場合には入れるのかを決める	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する	慰霊碑等の祈りを捧げる場と校舎の防災伝承の場を分ける

整備をする際に考慮すべきこと	遺族に配慮した場所にする	地域に配慮した場所にする
防災教育の場というのと、慰霊・鎮魂の場というのを一緒に議論してよいのか、なぜあそこに遺族の方がいかないのか、根本から考え、配慮をする	遺族会での慰霊は毎年行う	外から来る人も大切かもしれないが、中で辛い思いをしている人もいることを忘れずに配慮する
亡くなった人に失礼であるため、観光資源とは呼ばない	慰霊碑の位置付けは遺族の皆様で決める	慰霊碑は遺族会が決める
他の人が来ているときに、この場所に行ける遺族は少ない、心理的に行けなくなっている人がいることを配慮する	遺族会としてここを使いたいですが、という時に使えるようにする	遺族追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方について、地域住民と協議を続ける
遺族会での慰霊は毎年行う	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
外から来る人も大切かもしれないが、中で辛い思いをしている人もいることを忘れずに配慮する	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
慰霊碑の位置付けは遺族の皆様で決める	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
慰霊碑は遺族会が決める	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
遺族会としてここを使いたいですが、という時に使えるようにする	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
遺族追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方について、地域住民と協議を続ける	慰霊と伝承の位置付けは分けて考える	慰霊碑・モニュメントは検討会議以外で議論する
地域の中の大川小と考える	現状のまま残す	広島みたいに訪れた方が理解できるように物を残す
校舎に手を加えず事故防止のための安全対策を行う		